

篠山イノベーターズ スクールへようこそ

起業・継業のためのローカルビジネススクール「篠山イノベーターズスクール」の第8期生の募集が開始されました。今回は、スクールの役割やその魅力を紹介します。

問い合わせ 創造都市課 ☎552-5106 / 篠山イノベーターズスクール事務局 ☎506-6628



篠山イノベーターズスクール生の皆さん(2021年度)

篠山イノベーターズ スクールって

篠山イノベーターズスクールは、地方創生の先駆的な取り組みとして、地域の資源を生かした新しいしごと、農村の未来を創る人たちのためのローカルビジネススクールとして2016年に開校しました。

農村には豊かな資源があります。今求められているのは、受け継がれてきた自然や歴史、文化、農地などの資源を活用した、農村だからこそできる新しいしごとづくり。そこで、篠山イノベーターズスクールは、農村で夢・仲間・資源を見つけ、つなげ、しごととして形にすることを支援しています。

スクールには20歳代から60歳代までの幅広い年代の方々が受講し、京阪神間からも多く参加しています。これまで、190人が受講し、35人が起業・継業し、市内で活躍する方々も増えています。

スクールで 一緒に学びましょう

篠山イノベーターズスクールでは、現在、2022年度8期生の入学申し込みを受け付け中です。

神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ



大沢165-3 (篠山口駅直結)
☎・FAX506-6628
Eメール school@tscapital.jp
HP https://school.tscapital.jp/
開室日時 平日(月～金曜日) 9:00～18:00
スタッフ数 5人

※開室時間内でも、スタッフ外出時などは閉まっている場合があります。御用の際は、必ず事前に連絡をお願いします。



篠山イノベーターズスクール
チーフコーディネーター
鎌田悠子さん
リポーター

募集 篠山イノベーターズスクール 2022年度入学生

内容 CBL…1科目選択必修、各科目全6回
セミナー…2科目以上を選択、各科目全6回
起業・継業サポート

- ビジネスモデルデザイン ●農村イノベーション
- 起業のためのファイナンス
- 地域の成り立ちと構造
- 食と農の流通とマーケティング
- コピーライティングとデザイン

募集期限 3月31日(木)まで
募集人数 30人 受講料 88,000円

入学説明会

- ・3月4日(金) 13:30～14:30 / 神戸大学・丹波篠山市農村イノベーションラボ
- ・3月5日(土) 13:30～14:30 / 宝塚市商工会議所
- ・3月11日(金) 13:30～14:30 / オンライン
- ・3月16日(水) 10:00～11:00 / オンライン

※詳細はホームページをご覧ください。



スクールでは、これまで神戸大学と市が連携してきたことを生かし、時には地域とのマッチングも含めてコーディネーターが伴走し、皆さんのチャレンジを全力で応援しています。これまでの受講生も幅広い年齢

でさまざまな経験をされてきた方々なので、そういった人とのつながりが生まれることも特徴のひとつです。ぜひ、皆さんも一緒にスクールで学んでみませんか？

私たちスクールの 在校生&卒業生です



スクールの皆さんに
お話をうかがいました。

2022年度のプログラム(CBL)紹介 1科目必修(各科目全6回) 地域で行われるプロジェクトなどに実践的かつ主体的に取り組む学習

クリエイティブ林業



講師
辻徳人さん
株式会社デカン
シヨ林業
代表取締役

現地実習を中心に里山での地域循環を知り、持続的でクリエイティブな林業を考えていきます。

地域商社を立ち上げよう



講師
杉本淳さん
株式会社暮人
代表取締役

地域にある魅力的なモノやコトを見つけ、その打ち出し方・見せ方をプロデュースする力を身につけ地域商社として事業化することを考えます。

神社を守る コミュニティビジネス



講師
太田瑠世さん
尼崎えびす神社
宮司

神社・神職の仕組みを学び、神社を中心として展開されるコミュニティビジネスの可能性を考えていきます。

駅活用で 地域プロデューサーになろう



講師
中原大輔さん
CYCLE Inc.
代表取締役

人が集まり継続できるコンテンツを生み出すためのポイントを実践から学び、地域課題を事業で解決する地域プロデューサーとなることをめざします。



なかい もとはる
中井基治さん
4期生
(今田町下立杭)

大手の電磁波測定会社での勤務を経て、個人事業主として活動されてきた中井さん。69歳のとき、会社を清算し、何かできることを探そうと、2018年にスクールを受講。工場の敷地を有効活用できないかとグランピングを提案し、一昨年の10月に「立杭てらす」をオープンされました。「今田地区に宿泊施設がなかったので、運営を始めました。地元貢献できるようにがんばりたいです」と話されました。



東京から移住してきたとき、移住相談窓口でチラシを見たことがきっかけで、スクールを受講された森重さん。保護犬の活動に関わりたくて、有害捕獲されたシカ肉を活用し、ジャーキーとして商品化されました。現在はネット販売のみですが、今後はマルシェなどでの販売も考えられています。森重さんは「講師先生をはじめスクールの皆さんには、きっかけをいただき、背中を押してもらえました」と当時を振り返られています。



もりしげのぞみ
森重希美さん
7期生
(東吹)